

2学期末テストが終わりました。入試に向けた学習もいよいよラストスパートです。準備した問題集なども、この冬休みに仕上がると思います。遅れている人は、ピッチを上げて計画を仕上げましょう。1月の実力テストの後には、私立校の過去の入試問題を解いていくことになります。力は着実に付いています。焦らずに頑張りましょう。

本番のつもりで真剣に ～「校長面接練習」～

今週の12月8日(木)、9日(金)に「校長面接練習」を実施します。実施日時は次の通りです。

「校長面接練習」日程

12月 8日(木) 第1時限 6組 第2時限 3組 第3時限 5組

12月 9日(金) 第1時限 1組 第2時限 4組 第3時限 2組

以下に手順を書いておきます。詳しい面接の受け方は、進路だより10号(11月28日発行)を読んでもください。

もちろん、本番と同じように正しい服装と言葉づかいで、真剣に臨んでください。ブレザーの下にセーター等を着ている人は、ブレザーの裾や袖口から出ないようにしてください。靴下は白無地で、スニーカーソックスはさけましょう。

この「校長面接練習」は、事業所や高校等への入試のための練習だけでなく、卒業を控えて「校長先生と一人ひとりが話をする」ということも目的としています。したがって入試に面接がない人も、真剣に取り組んでください。



※ 手順

- (1) あらかじめ各クラス出席番号順に6人ずつ7つのグループを作ります。
- (2) 面接練習は校長室で行います。
- (3) 最初のグループは授業開始の5分前(休み時間中)に、2番目のグループは授業開始時刻に、3番目以降のグループは2つ前のグループが教室に帰ってきたら、教室を出て、校長室前の廊下の椅子に掛けて待機します。
- (4) 校長室に入る前に服装をチェックします。
- (5) 廊下の係の先生の指示でグループ全員が立ち、出席番号の先頭の人が入室をノックします。
- (6) 中から「どうぞ」と言われたらドアを開け、「失礼します」と声を掛けて順に中に入り、最後の人が入室後ドアを閉めます。
- (7) 新東淀中学の校長室は裸足ですので、靴を脱いでからすのこに上がり、すのこの前に順に靴を手で並べます(新東淀中のみ)。本番ではこのような場面はありません。
- (8) 部屋に入ったら用意された椅子の左側(校長室は狭いので今回は前)に立ち、一礼をしてから受験番号(今回はクラスと出席番号からなる3ケタの番号)と名前を告げます。
- (9) 後は10号に書いてあるとおりです。もう一度読み返しておきましょう。
- (10) 面接が終わり校長室を出るときは、ドアに近い人から先に出て、最後の人が入室後ドアを閉めます。

私立高校と公立特別選抜校の志願先を決定 ～第2回進路懇談会～

来週の12月12日(月)から第2回進路懇談会が始まります。この懇談会では、事業所、私立校、公立特別選抜校の志願先を決定します。また公立一般選抜校への見通しも検討します。家族とよく相談したうえで懇談に臨んでください。

この懇談で決定したことは、21日(水)に3年の先生方全員と校長先生、副校長先生、教頭先生、その他の主だった先生方で会議をもち、生徒全員一人ひとりの志願先についてその妥当性を検討します。その時「再検討した方がよい」という結果が出た場合は、担任の先生より連絡します。場合によっては再度懇談を実施することもあります。



ところで、皆さんは「夢」を忘れていませんか？ 前にも述べたとおり、高校等は自分の夢を実現するための通過点です。毎年、高校等の名前や偏差値に惑わされて、いつの間にか「夢」から外れた進路を選択してしまい、途中で退学して受験し直す人がいます。しっかりと将来を見据えて高校等を選んでください。とくに、府立工科高校を考えている人は注意してください。名前は同じ「工科」ですが、内容は高校によってかなり違います。「系」や「専科」を確認し、自分の希望する内容の学習ができる高校を選んでください。

大阪市統一テストの結果は 進路に向けた勉強の励みに…

みなさんが10月6日に受けた大阪市統一テストの結果が返ってきていると思います。たとえば、大阪市全体の中である科目の成績が上位7%以内に入ったら調査書の成績の5%が保証されるということになります。勉強を頑張ってきて好成績が取れたら、それだけ努力をしたということが評価されたわけですから、ぜひ進路獲得への励みにしてほしいと思います。

ただ、昨年の場合、大阪市の中で「高い得点を取ったので成績が保証される」ということを「これ以上この科目は勉強しなくてよい」とか「宿題やノートはもうやらなくてよい」と誤って受け止めて、勉強する意欲が鈍ってしまった生徒がいたそうです。

統一テストは3年生の10月初めまでに勉強した内容から問題が出されます。そして入試の本番では10月以後に授業で勉強した内容も同じように出題されます。

たとえば、社会科では公民的分野のほとんどは10月から勉強します。入試の中で公民的分野は25%から30%程度出ます。10月以後に勉強する努力の手を緩めたら、肝心の入試の時に思うような成績をとれない、ということになりかねません。公立高校でも私立高校でも、合否は入試問題の得点が半分くらいかそれ以上の比率で決められる場合が多いです。

今回の進路懇談で、具体的に希望の進路先を決定し、その進路獲得のために、最後まで努力を続けるようにしてください。